

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2018**



日本ジュエリーの最高峰を求めて

JJA ジュエリーデザインアワード 2018

JJA ジュエリーデザインアワードは、日本のジュエリー業界における最も権威あるコンペティションとして、日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞の作品を筆頭に独創的で斬新な優れたジュエリーを国内・海外へ向けて発信していく場です。高い技術力とデザイン力を誇る我が国固有の美しい文化と伝統を背景に、未来を見つめた新しいジュエリーを提案し続けていかなければなりません。

本アワードは二部門で構成されており、第1部門「プロフェッショナル部門」では時代をリードするデザイン・技術・品質を兼ね備えたジュエリーとし、第2部門「新人部門」では、新人・学生を対象に既成のジュエリーの概念を打ち破る新人らしい大胆な発想のジュエリーと位置付けています。

本アワードは、これからのジュエリー業界を担う新しい可能性を持つクリエイターたちの「ジュエリーに秘めた夢」の実現の場として、世界に向けた日本のジュエリー文化の発展を求め続けます。

会期／会場 ● 2018年8月28日～8月30日

ジャパンジュエリーフェア 2018 (JJF2018)

東京ビッグサイト 東5・6ホール アワード入賞作品展示会場

[展示作品] 全入賞作品

● 2018年9月19日～10月8日

山梨ジュエリーミュージアム 企画展示室

[展示作品] 全入賞作品

● 2019年1月23日～1月26日

国際宝飾展 (IJT2019)

東京ビッグサイト

[展示作品] 特別賞含む上位入賞10作品 (予定)

主 催 一般社団法人 日本ジュエリー協会

後 援 経済産業省／厚生労働省／東京都／山梨県／台東区／日本貿易振興機構 (ジェトロ)／
日本商工会議所／日本経済新聞社

協 賛 公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会／一般社団法人 日本真珠振興会／
ブラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社／UBMジャパン株式会社

**JJA
JEWELLERY
DESIGN
AWARDS
2018**



ご挨拶



一般社団法人日本ジュエリー協会
会長

中川千秋

Nakagawa Chiaki

一般社団法人日本ジュエリー協会は、日本で最高峰のジュエリーコンテストを目指し多方面よりのご後援のもと、毎年「JJA ジュエリーデザインアワード」を開催しております。このアワードは当初（第一回 1989 年）より数えますと第二十二回となり極めて歴史ある大会となっております。

今年度も内閣総理大臣・経済産業省・厚生労働省・東京都・山梨県・台東区・日本貿易振興機構・日本商工会議所・日本経済新聞社と多方面からのご支援をいただき盛大なアワードとなりました。本アワードは高いデザイン力と技術力を誇る我が国固有の美しいジュエリー文化を発信する場であり、将来の業界を担う新人発掘の場でもあります。

この開催が我が国のジュエリー文化の更なる高揚に寄与していると考えております。

今年度は第一部門「プロフェッショナル部門」第二部門「新人部門」の二つの対象部門と致しましたが、全国から多数の応募をいただき、皆様に御礼を申し上げますとともに、応募者の皆様の創作意欲の高さを感じております。

この作品の中から、各審査員の厳しい審査のもと「日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞」「経済産業大臣賞」「厚生労働大臣賞」「東京都知事賞」「山梨県知事賞」「台東区長賞」「日本商工会議所会頭賞」「日本ジュエリー協会会長賞・NIPPON 賞」「新人大賞」をはじめとした各賞が選ばれました。

本年度は、技術力の高さはもちろんのこと、斬新な表現の作品も多く出品され、審査員の方々にはそれぞれの視点で「ファッションとしてのジュエリー」「時代を反映したジュエリー」「身に着ける人を高揚させるジュエリー」等、高度なレベルで真摯に審査いただき深く感謝しております。

一般社団法人日本ジュエリー協会は、創立三十周年を迎え節目の年となりました。これからも時流の変化に即応したジュエリーコンテストの在り方を見直し、日本における最高峰のジュエリーコンテストとしてのデザインアワードのさらなる発展を目指してまいります。

審査員 講評



東京藝術大学 名誉教授/
山梨県立宝石美術専門学校 校長

飯野一朗

Imo Ichirou

入選率が第1部門42%、第2部門35%でいずれも狭き門となりました。第1部門は技術、品質共見ごたえがあり様々な展開が見られました。第2部門は常に新人に注目している私としては要項にある「新人らしい大胆な発想のジュエリー」が見られない事が残念でした。さらには金具、石留、着装に問題点が多くクリアしなくてはならない点に課題が残りました。

大賞となったネックレスは首元に一つアクセントをつくり首回りをダイヤで華やかに演出した見事な作品です。経済産業大臣賞のプローチとイヤリングはダイヤを巧みに配した精緻な表現が際立っていました。厚生労働大臣賞は正方形を基本に難しい表現で技術賞も合わせて受賞しています。

来年はアワード30周年となり節目を迎えます。公募展の主旨のもと新しい感性を持った作品が数多く出品される事、アワードのさらなる飛躍を期待します。



ファッションデザイナー

丸山敬太

Mariyama Keita

はじめてジュエリーの審査会に参加させていただきました。自分の中でのイメージしていたジュエリーとは若干違うものも多く、勉強になりました。美しい物や、ゴージャスなものもあり、受賞された方々の作品はそれぞれに魅力が感じられ、素晴らしかったです。

ただ、オリジナリティや、実際、ファッションとしてのジュエリーと考えると、諸々、疑問がわきました。コンテストという事を考えると大きさや奇抜さが求められると考えがちですが、その観点では、新しい視点やコンセプトは見えづらく行ききった作品もないように思えました。

そして、実際に人が着けた時に輝きを増すような、上質な作品も少なく、そのようなもので、感動をさせてくれるような作品が、もっと出てくれば、コンテストの意味も深まるのかなと、個人的には思いました。

又、若い人達の作品も、もっと勢いやエネルギーが溢れるものが沢山出品されると良いですね。

ありがとうございました。

審査員 講評



学校法人 杉野学園
ドレスメーカー学院 院長
布矢千春
Nunoya Chiharu

私はファッション関係の仕事をしておりますので、「身に着けた時に美しか」、「デザインとして時代性を反映しているか」など専門の先生とは違う視点をプラスして審査をいたしました。

プロの部門の作品は置いてあるだけでも美しく、それぞれに趣があり、何度も作品の前を行ったり来たりしながら、審査にとっても悩みました。また、モデルの方に身につけて頂くと動きによって更に美しく見えるもの、バランスのよい作品が明確になりました。やはり、高得点で受賞された作品は、ジュエリーの存在感や迫力迫るものがありました。

新人の作品は若々しさがあがり、コンセプトにも斬新さが見られ、将来ジュエリー業界で活躍してもらいたいと期待が高まりました。

最後になりましたが、自分では購入することのできないような豪華で、美しいジュエリーを手にとって審査をする事ができ、とても豊かな気持ちになりましたので、このような機会を頂きましたことに御礼申し上げます。



文化学園大学 教授
ジュエリー・メタルデザイン
庄司喜久美
Shouji Kikumi

審査に当たり、あらためて審査基準を考慮に入れながら拝見させて頂きました。

大振りな作品が目を引く中で経済産業大臣賞・日本ジュエリーデザイナー協会会長賞は、18金・ダイヤモンドの扱いが美しく、軽やかで着用性にも優れています。日本ジュエリー協会会長賞・NIPPON賞も、リボンのモチーフをパールで装飾し、ほど良いボリューム感をもたせて立体的に仕上げられています。どの応募作品も優れていますが、ネックレス部分に簡易な既製のものがあり少し残念です。また、一般的なモチーフであっても表現の仕方によっては新しい提案が出来ると思います。

第2部門は、全体に新人らしい大胆な発想が乏しい感がありますが、工夫を凝らして新たな技法に挑戦した作品や若者ならではのアイテムなどが見られます。発想は良いが、技術面が不足している作品もあり、更なる研鑽が望まれます。これからも新しい可能性を持ち挑戦するクリエイターを期待しております。



諏訪貿易株式会社 会長
諏訪恭一
Suwa Yasukazu

このたびのアワードの審査会では、2つの点を重視しました。

第1は、ジュエリーに求められる宝石の美しさを引き出す構想と、仕立ての善し悪しです。いくつかの受賞作品に、宝石の選択と組み合わせが優れており、裏から見た仕上げも丁寧で、宝石の美しさをよく引き出しているものが見られました。デザインコンテストでは見栄えのよい奇抜さを求めることも必要ですが、今回は比較的小さくても魅力的な作品が選ばれました。今後の応募者の道しるべになると思います。

第2として、この審査会では、できるだけモデルに身に付けてもらい、ほかの審査員のみなさんとともに、身に着けたうえでの判定を重視するようにしました。トルソーに収めたままのもの、装着した状態のものとは、ジュエリーのよさが大きく異なって見えることがしばしばあります。装着したときに美しくエレガントなものの方が高く評価されたことは、言うまでもありません。

初めての審査でしたが、楽しく勉強もさせていただいたことに感謝いたします。



ジュエリーデザイナー
菅沼知行
Suganuma Tomoyuki

今年は応募数に比べて優秀作品が多く上位拮抗の惑々感溢れる審査になりました。上位の受賞作品はどれが最高賞でもおかしくない秀作揃いです。

大賞は流れるフォルムの中に微妙に異なる色調のブルーの配列が鮮烈で、清潔感溢れる作品。経済産業大臣賞は長年同じ技法に取り組んできた作者の矜持が満ちていて、隠れたダイヤの使い方が印象的でした。楽しかったのは山梨県知事賞のイヤリングです。可愛いなと思ってマークを付けましたが他の作品にくらべ迫力が足りないからどうだろうと見ていたところ、同じ考えの審査員が多かったようで、高得点が入りました。ジュエリーは迫力だけではないという好見本です。

結果的に重複受賞が多いのは、上位と選外作品にはっきりレベルの開きがあったからだと思います。中位に当たる作品が少なくくっきり分かれてしまいました。応募数が多くなるのが理想ですが、まずは今回の上位組レベルの作品が二倍に増えることを望みます。

審査員 講評



株式会社 織研新聞社
取締役 編集局長
藤浦修一
Fujiura Shuichi

伝統ある JJA ジュエリーデザイン
アワードの審査員を務めさせていただ
き、光栄に思っています。私自身は、
昨年に続き 2 回目の審査会で、今回は
技術面で事前に専門家の方のチェック
が行なわれ、その評価も示されました
ので、私自身の審査の精度も上がった
と感じております。

審査にあたっては、まず第一印象を
大事にして自分なりの上位作品を選び
ました。そしてその中で着想とデザイ
ン性について他の作品と比較しながら
点数をつけ、最後に技術、出来栄えの
判断を加えて順位付けして最終得点を
決めました。

上位に入った作品は、どれも素晴ら
しい出来で、その中で差をつけるのに
は相当苦労しました。他の先生方の評
価も含め、最終的に入賞された作品は
どれも印象に残るものであり、このア
ワードの質の高さを痛感した次第です。

その上で、第 2 部門（新人）の作品
にはもっと奇抜で遊び心や冒険心にあ
ふれる作品が増えればとも感じまし
た。このアワードのさらなる発展に期
待しています。



ジュエリークラフトマン
西田良洋
Nishida Yoshihiro

今回の審査を終えて思う事は、作品
の大小に係わらず、コンセプトを充分
に表現した独創性豊かな着想のデザイ
ン、装着感が良い様に考案された技術
で品格よく製作された作品が多く見ら
れたという事です。したがって厳正に
選定に臨み、瞬時に直観した作品につ
いては、数回手に取って選定しました。

第 1 部門 内閣総理大臣賞／プラチ
ナ・ギルド・インターナショナル賞の
ダブル受賞作品は、作品タイトルは「共
鳴」の造語で、色石の配置構成技術と
いいバランス良くデザイン・製作され
ているネックレスだと思います。

技術賞の厚生労働大臣賞とのダブル
受賞作品「KooShiBrooch-Pendant &
Ring」は、プラチナで製作されてい
ても軽く、又メカニクな仕組みも取
り入れた事に称賛し選定しました。

第 2 部門で、キャドでデザインされ
造型機でキャスト鑄造されあまり手が
入れられていない作品がありました
が、手作りで経験を積み成長される事
を切望します。

総評として、機械化が進む中、職人
が巧みにキャド等を使い熟してこそレ
ベルアップされるものです。今後の
ジュエリー業界の発展の為に、センス
良い若手デザイナー・技術者が育成さ
れる事に期待します。

審査員一覧

審査員長	飯野 一朗	東京藝術大学 名誉教授 / 山梨県立宝石美術専門学校 校長
ゲスト審査員	丸山 敬太	ファッションデザイナー
審査員	布矢 千春	学校法人 杉野学園 ドレスメーカー学院 院長
審査員	庄司 喜久美	文化学園大学 教授 ジュエリー・メタルデザイン
審査員	諏訪 恭一	諏訪貿易株式会社 会長
審査員	菅沼 知行	ジュエリーデザイナー
審査員	藤浦 修一	株式会社 織研新聞社 取締役 編集局長
審査員	西田 良洋	ジュエリークラフトマン
特別賞選定員	小宮 宇子	公益社団法人 日本ジュエリーデザイナー協会 会長
特別賞選定員	金子 康男	一般社団法人 日本真珠振興会 理事
特別賞選定員	ハンキンソン尚子	プラチナ・ギルド・インターナショナル株式会社 代表取締役社長
特別賞選定員	クリストファー・イブ	UBMジャパン株式会社 代表取締役

応募作品・点数

第1部門	プロフェッショナル部門	31 作品	45 点
第2部門	新人部門	40 作品	62 点
	合計	71 作品	107 点
入賞作品		27 作品	48 点



日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞

経済産業大臣賞

厚生労働大臣賞

東京都知事賞

山梨県知事賞

台東区長賞

日本商工会議所会頭賞

日本ジュエリー協会会長賞・NIPPON 賞

日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞 / プラチナ・ギルド・インターナショナル賞

Grand Prize and Prime Minister's Award / Platinum Guild International Award



デザイナー
西村大記
Nishimura Taiki

[製作者/応募者]

株式会社 桑山

[E-mail] t-nishimura@kuwayama.co.jp

「Reson」

ジュエリーは身に着ける人の美しさを引き出すものとして愛されてきました。そんなジュエリーの魅力に着目。鎖骨に沿った形状にデザインし、ジュエリーと身体の一体化を表現。女性が持つしなやかさとジュエリーの煌びやかさが“Resonance = 共鳴”し、双方の美しさを最大限に引き出すことをテーマにしています。

1988 年 三重県伊勢生まれ

2010 年 国立鳥羽商船高等専門学校 商船学科 卒業

2013 年 全国ジュエリー・アクセサリデザイン画コンテスト
審査員特別賞

2014 年 日本宝飾クラフト学院 卒業

2015 年 宇和島パールデザインコンテスト

ジュエリーデザイン A 部門（パール・貴金属・貴石）部門賞

ジュエリーデザイン B 部門（パール・異素材）入選

2017 年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー
大賞・内閣総理大臣賞/技術賞

2018 年 Couture Design Awards Platinum Category WINNER



ネックレス/Pt900/タンザナイト/ダイヤモンド・サファイア

経済産業大臣賞 /

日本ジュエリーデザイナー協会会長賞

Economy, Trade and Industry Minister's Award / Japan Jewellery Designers Association President Award



ブローチ兼ペンダント・イヤリングセット/K18/ダイヤモンド/ダイヤモンド



デザイナー
彦根美代

Hikone Miyo

〔製作者〕 彦根美代

〔E-mail〕 chiocciola3434@gmail.com

「coral」

満月の夜、一斉に珊瑚の産卵が始まります。

ぷくぷくと小さな命が生まれ、暗い海に放たれていく。

とても神秘的で宇宙にも似ています。

ここから着想を得て、小さな粒々が集まった、ぶっくりとやさしいかたちを作りました。

この粒々がそれぞれに小さな粒の光を生み、細かい光の集まりのようなジュエリーになりました。

1996年 女子美術大学 芸術学部 卒業

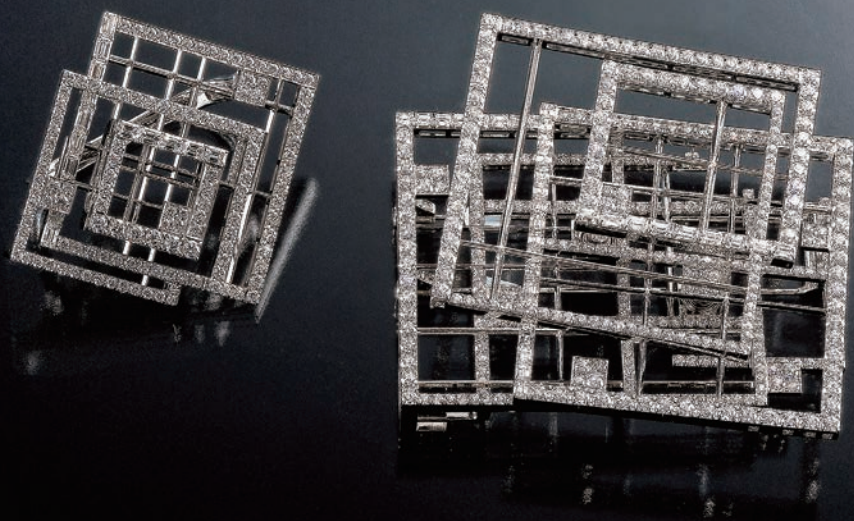
1998・99年 インターナショナル・パール・デザイン・コンテスト 佳作

2002～2018年 日本ジュエリーアート展 入選

2010年 日本ジュエリーアート展 奨励賞

厚生労働大臣賞 / 技術賞

Health, Labour and Welfare Minister's Award / Craftsmanship Prize



ブローチ兼ペンダント・リングセット/Pt900/ダイヤモンド/ダイヤモンド



デザイナー
沢村つか沙
Sawamura Tsukasa

〔製作者〕 今与 アトリエ室
〔応募者〕 株式会社 今与
〔E-mail〕 t-sawamura@imayo.co.jp

「KooShi Brooch-Pendant & Ring」

出逢いは、運命。
運命は人との出逢いによって動き出す。
まっすぐな線の重なりと交差は京の通りと人々が行き交う街。丸四角のダイヤモンドは運命の輝き。どの角度からも美しい立体構造、洗練された大小の通りのバランス、プラチナ線の立体的裁断、石留めの美、身に着けると揺れる輝きが増す細工と京職人の遊び心。現代の贅と技を閉じ込めて。

立命館大学 法学部 卒業
2001年 英ゴールドスミス&デザインアワード 推薦賞
2007年 英国宝石学協会 ディプロマ 取得
2012年 ワールドジュエリーアワード 2011 大賞、優秀賞
2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

東京都知事賞 / 日本真珠振興会会長賞

Governor of Tokyo Award / Japan Pearl Promotion Society President Award



ネックレス/K18YG・K18WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド



〔製作者/応募者〕 株式会社 ナガホリ

「琳派」

尾形光琳の『紅白梅図屏風』よりインスピレーションを得て日本の伝統の中に脈々と流れるクールとかわいさをテーマに琳派の世界観をジュエリーで表現致しました。

美しい玉（珠）を意味する「琳」…あこや真珠の魅力が引き出せるようにデザイン致しました。

デザイナー
中尾美穂
Nakao Miho

武蔵大学 人文学部 卒業

2007 年 タヒチアンパールトロフィー・ジャパン リング部門 1 位

2008 年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

2010 年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞/日本真珠振興会会長賞

2011 年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本真珠振興会会長賞

山梨県知事賞

Governor of Yamanashi Award



イヤリング/Pt950・K18PG/ダイヤモンド



デザイナー
渡邊 勇二
Watanabe Yuuji

〔製作者〕 渡邊 勇二
〔応募者〕 株式会社 アトリエ・オクノ
〔E-mail〕 oku-jew.y.watanabe@triton.ocn.ne.jp

「風」

日本には、街中で花びらが舞い散る季節があります。普段は目にする事のない風の存在も、通りを吹き抜ける姿や、地を這う姿を、舞い降る花びらは、風の姿をほんの一瞬だけ垣間見せてくれます。

耳元に流れる風をダイヤの花びらと繊細なプラチナ線で表現してみました。

1969 年 兵庫生まれ
2016 年 JJA ジュエリーデザインアワード 経済産業大臣賞／技術賞

台東区長賞 / ゲスト審査員賞

Mayor of Taito City Award / Guest Judge's Award



リング・イヤリング兼ピアスセット/Pt900・K14WG/ダイヤモンド/ダイヤモンド



デザイナー
笹瀬嘉子
Sasase Yoshiko

〔製作者〕 工房 Z

〔応募者〕 株式会社 エヌジェー

「IBUKI/息吹き」

心揺れるビジュアをテーマとして
新たな芽吹きを生命力を勢いあふれる

優美なダイヤモンドラインとフォルムで表現しました。

リング・イヤリングとも全方向のきらめきは女性の手・首筋の表情との一体感と動きにより完成されます。

愛知県生まれ

ヒコ・みづの宝石専門学校 卒業

2008年 FOREVERMARK Forevermark Design Award グランプリ・特別賞

2014年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞

2015年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー大賞・内閣総理大臣賞

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞

2017年 JJA ジュエリーデザインアワード 日本ジュエリー協会会長賞

日本商工会議所会頭賞

Chairman of the Japan Chamber of Commerce and Industry Award



カチューシャ・ピアスセット/K18WG/ダイヤモンド



デザイナー

横田美和子

Yokota Miwako

〔製作者/応募者〕 AnCrea・JAPAN 株式会社

「'Harvest' ～豊穡の大地～」

豊穡の風景、それは我々の命を繋ぐ糧であると同時に、小さな命の営みの物語でもありました。

貴金属が保つ強度の限界に挑むことでまるで風景のような空気感、そして軽さと透明感を生み出したいと考えました。

ダイヤは穀物一粒一粒に見立てられ、動きに合わせて光のグラデーションが起きる、有機的な幾何学ジュエリーです。

1973年 東京都生まれ

1997年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

2013年 JJA ジュエリーデザインアワード 東京都知事賞

2015年 International Jewellery Design Excellence Award 2015 Distinction Award

2015年 JJA ジュエリーデザインアワード 厚生労働大臣賞

日本ジュエリー協会会長賞・NIPPON 賞

Japan Jewellery Association President Award・NIPPON Award



ブローチ/K18WG/アコヤ真珠/ダイヤモンド



デザイナー
上野彩香
Ueno Sayaka

〔製作者〕 株式会社 ブレイン

〔応募者〕 東京真珠株式会社

「The Gene ～平和の遺伝子～」

“平和の遺伝子を、未来へ伝えてゆく”をテーマに、白いアウエアネスリボンとDNAのモチーフを組み合わせデザインしました。

リボンのやわらかさで「他者を受け入れる、やわらかい心」、珠座部の七宝柄で「和の心を繋げる」、裾を塩基対にして「平和の拡大」を表現しています。

愛情の象徴でもある真珠とともに“和”そのものを表現しました。

1992年 東京生まれ

2011年 都立工芸高等学校 アートクラフト科 卒業

2015年 東京家政大学 造形表現学科 卒業



第1部門

プロフェッショナル部門

優秀賞

Award of Excellence



ペンダント・リングセット/K18WG・K18/アコヤ真珠/サファイア・ダイヤモンド



デザイナー
関戸智美
Sekido Tomomi

〔製作者〕 土橋昌仁
〔応募者〕 株式会社 中込宝飾
〔E-mail〕 info@nakagomi-pearl.co.jp

「春の慶び」

満開の時を迎えた桜は慶びに満ち溢れ誰もが心躍る事でしょう。
そして散りゆく時は儚くも美しいものです。
桜が満開から時が経ち散りゆく様をデザインしました。
そこには人々の心にある「歓喜と悲愁」を感じ得ます。

1976年 山梨県生まれ
1996年 駿台理工専門学校 ジュエリーコース 卒業
同年 フレッシュマン・デザインコンテスト 入選
同年 株式会社中込宝飾 入社

佳作

Honorable Mention



イヤージュエリー(ピアス&イヤカフ)/K18WG/
ダイヤモンド/ダイヤモンド

「setsuna」

冬の澄みきった空気。
枝に積もった雪がキラキラと輝く。
儚く厳かな冬景色の美しさは、女
性の可憐で繊細な心を表現してい
ます。
神秘的な自然美は、内に秘めた女
性の美しさや強さを引き立てます。

デザイナー

水谷奈央

Mizutani Nao

〔製作者〕 首藤 治

〔応募者〕 株式会社 柏圭

〔E-mail〕 shirasaka@kashikey.co.jp

佳作

Honorable Mention



ネックレス/K18WG・Pt900/ダイヤモンド/ダイヤモンド

「スパイラル」

自然界には美しい形や模様が溢れ
ている。様々な法則が潜んでいて、
私達を魅了し豊かさをもたらして
くれる。植物の遺伝子や貝殻、渦
潮に見られる螺旋もそのひとつ
で、生命やエネルギーを連想させ
ます。
ぐるぐる渦巻く不思議なリズムを
表現してみました。

デザイナー

石 有里

Ishi Yuri

〔製作者〕 man + moss

〔E-mail〕 atelierlirio@gmail.com

入選

Nominated



帯留め兼ブローチ・ピンブローチセット/K18・Pt900・エナメル/
ペリドット・ダイヤモンド/ダイヤモンド

入選 / JJF 賞

Nominated / Japan Jewellery Fair Award



ネックレス/K18WG・Pt850/アコヤ真珠/ダイヤモンド

「Envie de liberte

自由への憧憬」

ラッキーアイコンを、着用される方のセンスで洋装でも和装でも、より自由にレイアウトを楽しめる様、デザインしました。

デザイナー

山中千里

Yamanaka Chisato

〔製作者〕 多田孝之

〔応募者〕 多田商店

「日本の切り紙

－なごり雪と桜－」

線を切りとって広げるだけで複雑で豊かな世界に招く日本の切り紙。春の訪れを感じさせるなごり雪と桜を使って胸元に表現しました。

デザイナー

石川和代

Ishikawa Kazuyo

〔製作者/応募者〕 東京貴宝株式会社

〔E-mail〕 kazuyo.ishikawa@gmail.com



第 2 部門

新人部門

新人大賞

New Talent Grand Prize



ブローチセット/純銀・SV950・K18YG/ダイヤモンド



門倉晃大
Kadokura Koudai

「ORI」

一見はシンプルな羽のブローチ。しかしよく見るとそこには無数のテクスチャーが現れます。

この作品はフィリグリーのテクニックを応用して制作しました。

金や銀の線を一本一本紡ぐことで生まれる緻密な景色や質感、そして羽特有の軽やかさをお楽しみください。

1995年 神奈川県生まれ

2018年 ヒコ・みづのジュエリーカレッジ 卒業

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



マスク/SV925・布/淡水真珠

「Impression」

「自らが他者を見るととき偏見などが邪魔をして純粋な目で見るができない」様に、「他者がこちらを見るととき、モザイクがかかったはつきりしない姿を見ているのではないか」という関係性の可視化を試みた作品です。様々な素材のテクスチャが作るモザイク模様によって、人間関係の歪みを美しく表現できるよう工夫をしました。



鈴木菜央

Suzuki Nao

1996年 山形生まれ

2018年 第30回公募 日本ジュエリー展 入選

2019年 東北芸術工科大学 卒業予定

[E-mail] ns.jo.cr@gmail.com

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



ネックレス・ピアスセット/SV950・SV925

「Blooming」

ジュエリーを制作する上で金属ならではの展延性や振れに注目してアイデアを考えています。繊細かつボリューム感のある造形はデザインでは表現できず、道具や手を用いて働きかけて生み出されます。そうして出来たジュエリーは身に付け、揺らめかせることで見え方に変化があり、作品の特徴がより活かされると思い制作しました。



田口百恵

Taguchi Momoe

1995年 兵庫県生まれ

2016年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

2017年 JJA ジュエリーデザインアワード 入選

2018年 第57回公募 日本クラフト展 招待審査員唐沢昌宏賞

2018年 神戸芸術工科大学大学院 芸術工学研究

科 総合アート & デザイン専攻 在学中

[E-mail] momoe_oxo@yahoo.co.jp

新人優秀賞

Award of Excellence for New Designer Prize



ブローチセット/SV925・檀木・金めっき・
化粧品(口紅・チーク・マニキュア)・毛(ウール)・真鍮・七宝/CZ

「無計花間住」

急速な経済発展と多文化融合の現代において、若者たちが失ってしまった伝統文化に対する意識と東洋女性独特の素朴で含蓄のある美しさを探求すると同時に、自然の中における人間本来の姿を追求した。

作品名は中国の唐の時代の詩歌から取ったものです。意味は桃源郷に永遠に住むことができない悔しさと女性の美貌の儂さを表現する。



任 俊穎

Ren JunYing

1994 年 中国生まれ
2017 年 北京服装学院 卒業
2017 年 Marzee International Graduate Show
2018 年 東京藝術大学大学院 彫金科 入学
2018 年 第30回公募 日本ジュエリー展
under26 部門賞

[E-mail] moumouren1994@163.com

入選

Nominated



リング/SV950/オニキス/CZ

「parasitism」

テーマは「寄生」です。葉や虫の羽のモチーフ、それらの生命が折り重なって生きていく様を表現しました。

稲飯亜佳音

Inai Akane

[E-mail] rudy061076@gmail.com

入選

Nominated



ヘッドアクセサリー/SV999・SV950

「ブライダルジュエリー ー花笑みー」

洋装のみの式でも和の要素を取り入れたものが出来ないかと考え、バラの花や葉を折り紙の技術を基にして制作をしました。

町田静香

Machida Shizuka

入選

Nominated



ブローチセット/SV925/めのう・トルコ石・ラピスラズリ・
タイガーアイ・ジャスパー・マラカイト

「Humming birds」

ハチドリ光源によって変化する色は羽ばたく宝石のようだ。その魅力を多様な石を貼り合わせて表現した。

尾形あさひ

Ogata Asahi

入選

Nominated



ネックレス/SV950/シトリン/ロードライトガーネット・CZ

「彗星蛾」

夜空から羽ばたき、胸元にとまる。彗星のような尾羽をもつ蛾をモチーフに、蛾の美しさを表現しました。

赤井千夏

Akai Chika

入選

Nominated



チェーン付財布/SV925・牛革/スターダイオブサイド

「Kerberos wallet chain set」

燻しの加工によってシルバーならではの重厚感、モチーフの荒々しさを表現出来たかと思います。

糟谷亮太 (P.N. 恵縁)

Kasuya Ryouta

[E-mail] ichigoichie-no-teltelbouz@
softbank.ne.jp

入選

Nominated



チョーカー/Silver・銅・七宝/サファイア・ルビー/アコヤ真珠

「春の夜の夢」

妖艶な花の香りに誘われ、舞う蝶。蝶や花の色あい、作品に溶け込むような金具にこだわり制作しました。

中田陽子

Nakata Youko

入選

Nominated



ネックレス/SV950/CZ

「Catch」

雨上がりに見つけた自然からの贈りもの。

雨粒をまとった輝きで人々の視線も惹きつけてほしいと思います。

笹野凌河

Sasano Ryouga

[E-mail] 2016j009.yg.sasanoryoga@gmail.com

入選

Nominated



ネックレス/SV950/ペリドット

「Sunlight of peridot」

初夏の心地よい木漏れ日を、葉の鎖の重なりで生じる透け感とみずみずしい輝きを放つ石ペリドットで表現。

大澤結衣

Oosawa Yui

入選

Nominated



ブローチセット/SV950/CZ/CZ・イエローサファイア

「twinkle」

月と流れ星をモチーフにブローチを制作。石留めに変化をつけ、星の煌めく様子を表現しました。

金田はるか

Kaneda Haruka

入選

Nominated



ブローチ・ピアスセット/SV925・金めっき

「川口の光

The light of Kawaguchi」

埼玉の川口に住んだことがあります。その頃の一つ心に残った思い出、川口の光を記録しようと思い、ジュエリーを作りました。角度によって光りが変わり、作品の様も変わって見えます。

陳 明遠

Chin Meien

[E-mail] chinmeien@sina.com

一般社団法人 日本ジュエリー協会

会長 中川 千秋

総務・財務部会

部会長

近藤 誠

デザインアワード委員会

委員長

中込 健

委員

山崎裕見子

副委員長

坂巻 章雄

日笠 祐二

飯田 孝子

庭崎 泰行

編集

一般社団法人 日本ジュエリー協会

デザインアワード委員会

撮影

Studio A-Vipc

印刷

山口北州印刷株式会社

発行日

2018 年 8 月 28 日

発行

一般社団法人 日本ジュエリー協会

〒110-8626 東京都台東区東上野 2-23-25

TEL (03) 3835-8567 FAX (03) 3839-6599

<http://www.jjana.jp> E-mail: ja@jjane.jp

禁無断転載複写



一般社団法人日本シユエリ一協会